

西条市における取組概要

学校が取り扱う業務がますます複雑化・困難化している現在、教職員の多忙化の解消や負担感の軽減により、子どもたちとじっくりと向き合う時間、自分自身と向き合う時間を確保することは喫緊の課題である。

西条市では、この現状を打破するため、愛媛県の「愛媛県教職員業務改善方針」を受け、まず学校の勤務実態・勤務時間等を正確に把握・分析し、全ての教職員の業務分担を抜本的に見直す機会を得る。それぞれの取組を行う過程において、学校長リーダーとした教職員一人一人の意識改革を図り、業務の仕組みの改革及び教職員のワークライフバランスを確立させることで、教職員の満足度を向上させることをねらいとする。

なお、それぞれの取組項目は以下のとおりであるが、PDCAサイクル(計画(Plan)→実行(Do)→観察(SeeおよびCheck)→行動(Action))を確立し、業務の改善による負担軽減と教育効果を定性的・定数的に見える化し、蓄積されたエビデンス(根拠)とともに、本事業終了後も業務改善が繰り返し履行され維持できることを目指し、本事業を実施いたしたい。



統合型校務支援システムの実現

西条市では、平成28年度より「統合型校務支援システム」の全校運用を行っている。

本市の教職員らで組織する「西条市立小・中学校情報化推進委員会」とも密に連携を図り、本委員会を通じて、帳票類のさらなる電子化や標準化を進めている。また、これを契機に学校文化の改革も進めるなどし、その利便性と効率化を高めるための検討を重ねている。

校務支援システムにより、校務の効率化が図られるとともに、セキュリティの向上が図られ、安心・安全な校務環境が整った。教職員のモチベーションが高まり、その満足度は非常に高い。

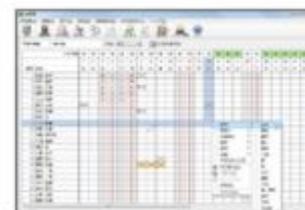


統合型校務支援システムポータル画面

■名簿作成



■出欠席



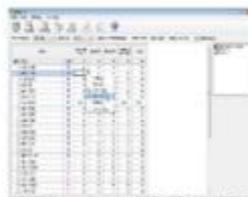
■指導要録



■保健管理



■通知表



■成績処理

■調査書作成

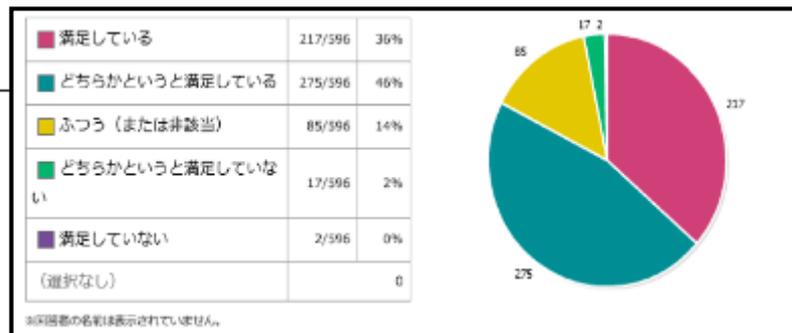
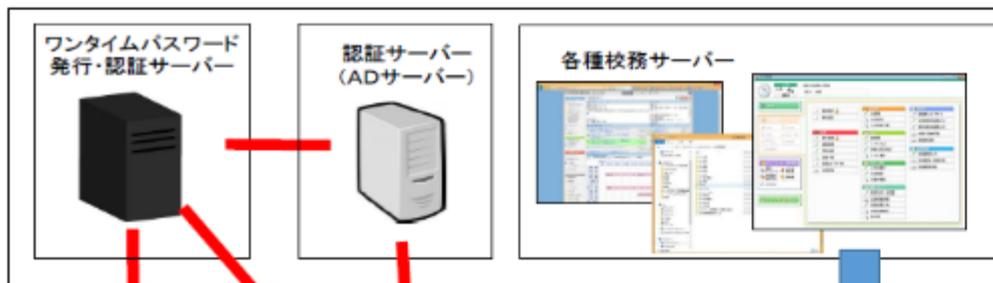


その他
 時数計算、徴収金管理など

テレワークシステムの実現

国が推し進める「働き方改革」を推進し、教職員の負担の軽減を図るため、「テレワークシステム」を導入。本システムにより、校務の効率化やセキュリティの向上が図られるとともに、時間や場所に囚われない校務スタイル、ワークライフバランスが実現するなど、教職員の満足度は非常に高い。

Q. テレワーク・校務支援システムは満足のものですか →



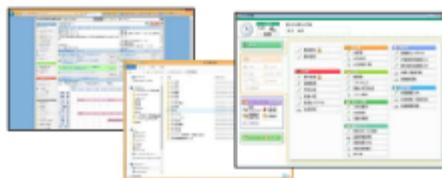
ワンタイムパスワード申請・発行

(ア) ワンタイムパスワード認証

(イ) Windowsログオン認証

(ア)+(イ) 2要素認証

自宅用PC・モバイルPCのデスクトップに仮想的に表示される



- 安全性の確保のため、自宅用PCへのファイルのコピーやダウンロードはできない。
- USBメモリ等の持ち帰りや個人情報データのローカル保存が不要となるため、セキュリティリスクが格段に高まる。

<自宅または出張先>



携帯電話等 自宅用PC・モバイルPC

■ より安全かつより利便性を高める仕組みづくり、ワークライフバランスの改革

調査書の電子化

既に愛媛県立高等学校に提出すべき調査書については、本市における統合型校務支援システムの導入により、平成28年度よりその電子化が実現している。

今回、その他県内にある私立・国立等の16の高等学校、全30種類の調査書の電子化を実現したことで、中学校の教職員の負担軽減に繋がった。

<作業の流れ>

スズキ校務から CSV データを保存

CSV データ取込ボタンを押す

出力したい生徒と調査書を選択

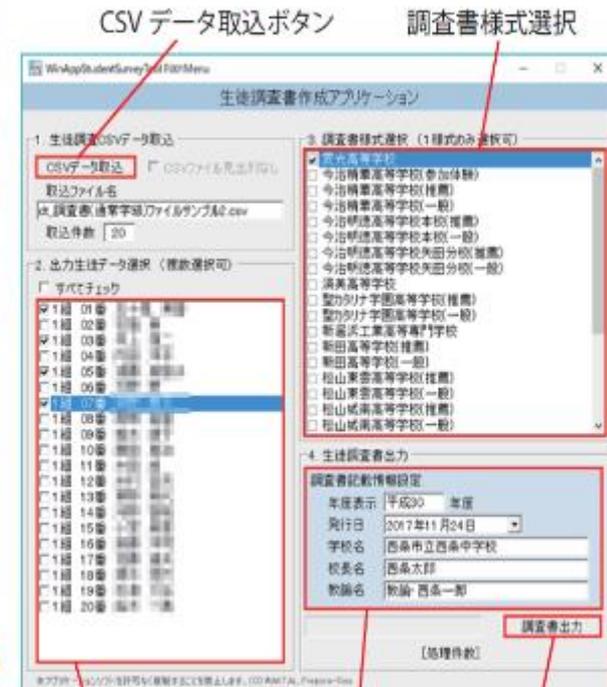
調査書出力ボタンを押す

デスクトップ上に調査書を生成

わずか5ステップ、約20秒!

※出力する調査書の数や、熟練度にもよります。

<作業画面>



出力生徒データ選択

記載情報設定

調査書出力ボタン